# 17 『徒然草』

＊に、なにがしの＊などいふやうなる者のありけるが、＊をに（ア）いみじき薬とて、①朝ごとに二つづつ焼きて食ひける事、年久しくなりぬ。る時、の内に人もなかりけるをはかりて襲ひⓐりて囲み攻めけるに、館の内に②二人ⓑで来て、③命をしまず戦ひて、皆追ひ返し＊てげり。いと不思議にⓒ覚えて、「ここに（イ）ものしふとも見ぬ人々の、かく戦ひし給ふは、いかなる人ぞ」と問ひければ、「たのみて、朝な朝な召しつる土大根らにさうらふ」と言ひて④せにけり。

深く信を致しぬれば、⑤かかる徳もありけるにこそ。

語注

筑紫＝九州地方の古称。特に九州北部を指す。

押領使＝平安時代の地方官。軍事・治安維持の仕事にあたった。

土大根＝大根

てげり＝「てんげり」と読む。完了の助動詞「つ」の連用形＋過去の助動詞「けり」。「…てしまった」の意。

要約

　筑紫のある押領使が、薬効を信じて毎朝食べていた大根の精霊に危機を助けられる。

問1　波線部（ア）・（イ）について、本文中での意味として最も適当なものを、それぞれ次から選べ。（4点×2）

（ア）　いみじき薬

ア　体に毒となる薬

イ　素晴らしい薬

ウ　不思議な薬

エ　広く使われている薬

〔　　　〕

（イ）　ものしふ

ア　お聞きする

イ　いらっしゃる

ウ　参上する

エ　おっしゃる

〔　　　〕

問2　二重傍線部ⓐ〜ⓒの動詞について、その活用の行と終止形（基本形）を、それぞれ答えよ（ⓐ・ⓑの終止形は平仮名で答えること）。（各完答で4点×3）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ⓒ | ⓑ | ⓐ |  |
| 行 | 行 | 行 | 活用の行 |
|  |  |  | 終止形（基本形） |

問3　傍線部①・③・④について、主語が異なるものを一つ選び記号で答えよ。（6点）

〔　　　〕

問4　傍線部②「二人」とは何者であったのか。本文中の語句を用いて、五字以内で説明せよ。（12点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

問5　傍線部⑤「かかる徳」とあるが、具体的にどのようなことを指しているのか。最も適当なものを次から選べ。（12点）

ア　身体が健康であったので、敵を追い払うことができたということ。

イ　押領使という役職につくことができ、毎日食事がとれたということ。

ウ　敵に襲われるという危機に陥ったとき、救ってもらえたということ。

エ　日ごろ会うことができないような強い兵士と会えたということ。

〔　　　〕

練習問題〈ナ行変格・ラ行変格活用動詞〉

一　ナ行変格活用動詞「ぬ」の活用を書け。

①　往（　　　）ず。　　未然形

②　往（　　　）て、　　連用形

③　往（　　　）。　　　 終止形

④　往（　　　）時。　　連体形

⑤　往（　　　）ども。　已然形

⑥　往（　　　）。　　　 命令形

二　ラ行変格活用動詞「有り」の活用を書け。

①　有（　　　）ず。　　未然形

②　有（　　　）て、　　連用形

③　有（　　　）。　　　 終止形

④　有（　　　）時。　　連体形

⑤　有（　　　）ども。　已然形

⑥　有（　　　）。　　　 命令形

【解答】

問１　（ア）＝イ　　（イ）＝イ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ⓒ | ⓑ | ⓐ |  |
| ヤ行 | カ行 | ラ行 | 活用の行 |
| 覚ゆ | いでく | きたる | 終止形（基本形） |

問２

問３　①

問４　土大根二つ

問５　ウ

【練習問題解答】

一　①な　　②に　　③ぬ　　④ぬる　　⑤ぬれ　　⑥ね

二　①ら　　②り　　③り　　④る　　　⑤れ　　　⑥れ